記者発表資料

忘れない、水害への備え
～令和2年7月豪雨から1年～

令和３年８月５日
最上川流域治水協議会

「令和２年７月豪雨」洪水被害の記憶を風化させない取り組みを進めます。
～大江町に洪水痕跡表示看板を設置しました！～

○ 令和２年７月豪雨から１年という節目を迎えるにあたり、災害発生から現在までの災害復旧状況等についてお知らせするとともに、この歴史的な大災害を忘れることなく、近年多発する水害への備えを改めて考えるきっかけとなる、各種取り組みを関係機関と連携し進めていきます。

○ 令和２年７月豪雨により浸水被害が発生した大江町百目木地区に洪水痕跡表示看板の設置が７月３０日（金）に完了したのでお知らせします。

➢ まるごとまちごとハザードマップとは、

・近年激甚化する水害に対し、水災害の浸水深や避難所等を標識として生活空間である「まちなか」に表示することで、日常時は、水防災への意識を高めるとともに、浸水深・避難所等の知識の普及・浸透を図り、発災時には、自らの命を守るための判断情報となり、住民の主体的な避難行動を促すとともに安全かつスムーズな避難につなげる取り組みです。

➢ 令和２年７月豪雨から１年に関する行事

・６月２８日（月）　「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」特設ＷＥＢサイト開設
・７月　２日（金）　小学生向け防災講座（村山市西郷小学校）
・７月　２日（金）から１７日（土）　雨展（山形県生涯学習センター遊学館）
・７月　５日（金）から３０日（金）　巡回パネル展
・７月　９日（木）　小学生向け防災講座（河北町溝延小学校）
・７月２８日（水）【中止】大江町まるごとまちごとハザードマップ（令和２年７月洪水痕跡表示）
・７月３０日（金）【設置】
・７月３０日（金）　流域治水に関するトップセミナー（最上川流域治水協議会）
・８月　５日（木）　河北町まるごとまちごとハザードマップ（令和２年７月洪水痕跡表示）

＜発表記者会＞：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、新庄新聞放送記者会

問 合 せ 先

国土交通省

【最上川流域治水協議会事務局】
東北地方整備局　山形河川国道事務所　山形市成沢西４丁目３番55号
電話　023-688-8421（代表）
副所長（河川）　小出（こいで）　博（ひろし）　（内線 204）
調査第一課長　小田桐（おだぎり）　聡（さとる）　（内線 351）

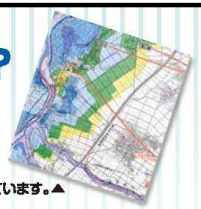
もがみがわ 中流 上流
緊急治水対策プロジェクト

実績浸水深看板設置箇所

忘れない、水害への備え
～令和２年７月豪雨から１年～

「洪水ハザードマップ」をご存知ですか?

「洪水ハザードマップ」は、河川のはん濫を想定して
みんなが迅速、的確に避難を行うための情報が載っています。



市町村で作成・配付しています。▲

まるごとまちごとハザードマップは、
実際に「洪水ハザードマップ」の情報を、まちなかに標示するものです。

住民自身が主体となって、「洪水ハザードマップ」に書かれている浸水エリア、浸水の深さ、避難所までのルートを把握し「想定浸水深プレート」を設置することで、地域の防災意識を高め、いざというときの安全かつスムーズな避難に貢献します。





日常時
地域の防災意識の高まり
洪水を知る
【啓発】

日常時
避難所位置、避難の学習
避難を知る
【学習】

発災時
判断のための情報提供
状況を知る
【適切な判断】

安全かつスムーズな避難

（大江町左沢地区）

凡例
■ :まるまち看板位置【R2.7実績看板設置箇所】
⬭ :R2.7 浸水エリア

出典:地理院地図に浸水深看板情報等を追記して掲載

実績浸水深看板設置状況

忘れない、水害への備え
～令和２年７月豪雨から１年～





NO.	設置箇所			表示浸水深	
	設置箇所	所有者	電柱番号	想定（L2）	実績（R2.7）
1	危険箇所水位標	国土交通省	ー	6.7m	4.3m
2	住宅前電柱	東北電力	大江百目木線9西1	5.6m	0.8m
3	住宅前電柱	NTT	原町16R4	4.8m	1.7m
4	住宅前電柱	東北電力 NTT	大江百目木線12-1 原町250	6.7m	2.4m
5	住宅前電柱	東北電力 NTT	大江百目木線10 原町24	5.7m	1.6m
6	あてらざわ温泉前電柱	東北電力 NTT	大江百目木線9 原町23	5.6m	0.8m







